

## 支援業務課からのお知らせ

### 畜産経営の発展は経営診断から

本協会では、本県畜産農家の経営安定と発展を目的として、新潟県の委託により経営診断を実施しております。平成13年度畜産経営技術高度化推進事業の畜産経営診断指導受診申し込み取り纏めを農業協同組合を通じて行っていますので、是非とも管内畜産農家の方々にお勧め頂きますようご案内致します。

#### 1. 経営診断指導の内容

- ア 総合診断指導…畜産経営部門の生産技術、損益計算、生産原価計算、財務状況等について、総合的な診断助言指導を行います。
- イ ワンポイント診断指導…畜産部門のうち、生産技術、経営技術、経営収支、財務状況等の項目のうち一項目について、診断助言指導を行います。

#### 2. 受診申し込み取り纏めの期日

平成13年1月末日

#### 3. 申し込み方法

受診希望農家は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入し、農業協同組合→市町村→農政事務所を経由して本協会に申し込み下さい。

詳しいことは、本協会又は、もよりの農業協同組合にお問い合わせください。

## 「頑張ろう、畜産経営者！」



新潟田市 養豚一貫経営

相馬 政春氏

最近、夢の中で世界中の豚がある原因で激減しスーパーストアで売られている豚肉が、なんと、あの鯨肉より高い高級肉としてショーケースに並べられている夢を見ました。ずいぶん虫の良い話で我ながら恥ずかしい思いですが、実は、先日養豚農家の集まりがありまして、参加者の大半から、ある年齢になったら経営を中止するとの声や豚舎が壊れたら廃業だとか、自分の代で終わりだとの意見が相次ぎました。しかし、出席者の中で最も若い生産者から「そんな、寂しい事を言わないでほしい。明日に向かって頑張らしましょう……」と言われた時、私は自分の消極的姿勢に我を打たれました。皆が自分の代で廃業すると言う事は、やる気のある若い人に水を注す事になり、今応援してくれている農協や行政等関係機関の方々に、あきらめムードを作る事になるのではないかと心配した次第であります。

複合経営の小規模の養豚経営が無くなっても、その減少分は多分大型経営の方で十分補う事が出来ると思いますが、いろいろな角度から見て大きな点が一つあるよりも、小さくとも多数散らばっている方が心強く感じます。今、私はいつ経営を廃業するとか、自分の代で終わりだとかは、二度と口に出して言うまいと心に誓った次第です。十年先が不透明な中で、今から急いで結論付ける必要も無いのではないかと思います。現在、経営が抱えている問題の一つ一つ解決しながら、農業や畜産・養豚経営の利点を少しずつ子供達に「夢とロマン」を語ろうと思います。未来の養豚経営がどのように発展を遂げるのかわかりませんが、21世紀はすぐそこまできています。明日の希望に向かって一歩一歩確実に歩みたいと考えています。

畜産農家の皆さん頑張らしましょう。!

### 編集後記

畜産3団体が統合して新潟県畜産協会を4月に設立し9ヶ月経過しました。当協会では、業務PRにあたって、会報誌「LET IT」を発刊することになりました。会報誌「LET IT」は会員・畜産関係機関や畜産農家の方々に対するサービスの一環として広く協会の情報を提供する考えであります。会報のネーミング「LET IT」は「…しよう」という意味です。創意工夫をもって難問題を解決しようと言う前向きな新生協会の心意気を表すものであります。会報誌は、年4回(季刊)の発刊を予定しております。今後は、出来るだけ斬新でユニークな話題や資料・データについて取り上げようと考えております。皆様の興味の湧くものを提供し充実・強化を図ってまいります。ぜひ、ご意見やご注文があればどんどんお寄せください。